

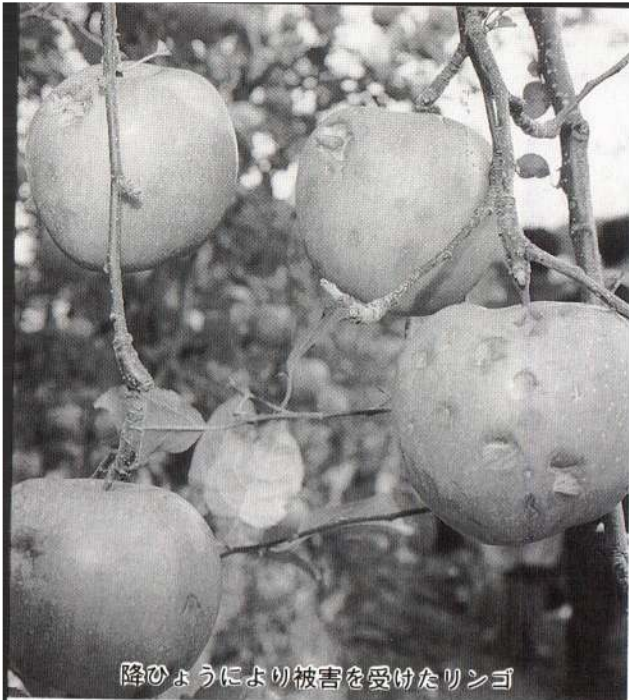
乗率を通年維持していくことが東京便一日二往復実現につながるものと考えています。そのため、圏域市町村が一丸となって冬期間の需要の確保に努めていきますので、市民の皆さんには、ぜひとも空港の利用をお願いします。

今年の農業

降ひょうにより多大な被害

最初に、農作物の作柄状況についてですが、水稻は穂が形成される時期の最低気温が低く心配されましたが、結果的には平年並みの作柄となりました。

果樹については、台風などの影響もないうえ高値で取引されてきました。しかし、十一月の降ひょう



降ひょうにより被害を受けたリンゴ

うにより、リンゴの主力品種「ふじ」が多大な被害を受けました。野菜は、多雨、日照不足の影響があつたものの、総体的には平年並みの作柄でした。販売額については、他県の台風被害などによる野菜不足から平年を上回るものと予想されます。ただ、果樹同様一部地域でネギが降ひょうによる被害を受けています。

次に、果樹のひょう害についてです。

十一月三日未明の降ひょうにより、中山及び曲田地内で収穫を目前にしたリンゴの「ふじ」と一部収穫を残していた「王林」が壊滅的な被害を受けています。被害面積は二十二・九五ヘクタールで、被害推定量は約三百五十トン、被害額はおよそ七千百万円と推定されています。

被害農家の救済策の一つとして、市内関係者の協力を得て被害リンゴを販売したり、学校給食に使用していただいたりしました。

また、大幅な減収が見込まれる農家への支援策として、農協など関係機関と協議しながら低利な資金貸し付けや利子補給などの措置を講じていくことにしています。

最後に、緊急生産調整の取り組みについてですが、農家に対し一

律三二・五%の転作率でお願いしたところ、転作達成率が一〇一・四%となりました。目標達成にご協力いただきました関係農家に対し、心から感謝申し上げます。

高速交通体系の整備前進

西道路、南バイパス開通

建設省が行ってきた「大館西道路」と、県が行ってきた「大館南バイパス」が十一月末日をもって完成しました。

特に、大館西道路は自動車専用道路であり、開通後は歩行者が立ち入ることができない道路となります。そのため、十一月二十三日に開通記念健康マラソンを開催したところでした。

このマラソン大会の様子は新聞やテレビでも報道されましたが、小雪が舞うあいにくの天候にもかかわらず、市内外から二百七十人の参加をいただき、盛大に開催することができました。

十二月五日には、この二路線の合同の開通式典が行われ、終了後の午後三時から一般車両に開放されます。

本二路線の開通は、市内通過交通の分散による交通渋滞の緩和や物流のスピードアップによる農林



大館工業高校のソーラーカーもパレードに参加し両道路の開通を祝いました

その他の行政報告

水産業、商工業等地場産業の振興など、市民生活に大きく寄与するものと期待しています。

▽第2次大館市行政改革大綱の策定について

▽介護保険制度における介護認定審査会の広域的な取り組みについて

▽雇用機会増大促進地域の指定について

▽大館まちづくり講演会の開催について

▽第2回大館圏域産業祭について

▽秋のまつり行事について

▽市道池内二井田線の部分供用開始について